おかげやプロジェクト
活動報告

たてやま里まちMeet Up　2021みどりの日

「おかげや」とは？
安房地域の野菜が集まる新しい市場

名前の由来
「おかげさま」の関係
陽の当たらない「かげ」に隠れた
ふぞろいの野菜たち

https://ideasforgood.jp/glossary/imperfect-produce/

六軒町から　安房へ　都市部へ

そしてさまざまな世界へ

「おかげ」を送り届ける！

地元に親しまれてきた「おさとや」を

「おかげや」として再生・活用

私たちが目指す館山

市民がハッピーになる街

ハッピーじゃない…？

かつては安房地域の中心として栄えていたが、
近年は人の往来が減少してしまった

館山郊外は畑が広がるのに、地元小売店に
行ってもその多くを買うことはできない

自分が作った野菜が、地元ではほとんど
利用されていないことに寂しさを感じる

他地域のファンを獲得し
将来にわたり関わり続ける

「LOCAL to WORLD」

舞台は旧「おさとや」

昭和38年築（築58年）の木造２階建て

かつては電器屋、総菜屋（おさとや）でした

外観（正面）

1 F

廊下（側面は棚）

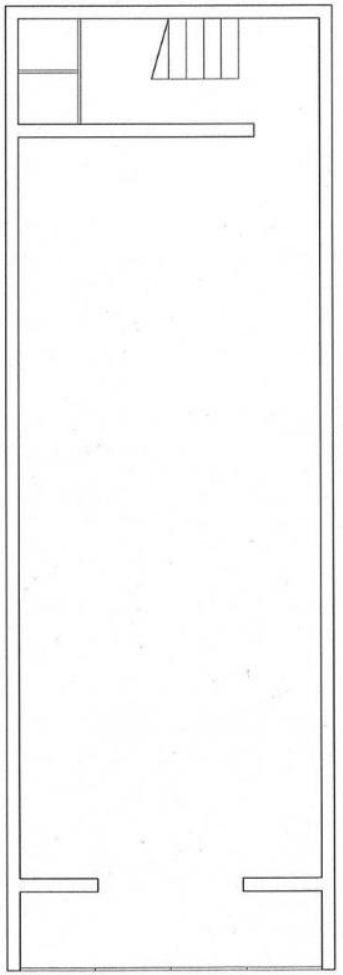
個室①

個室②

個室③

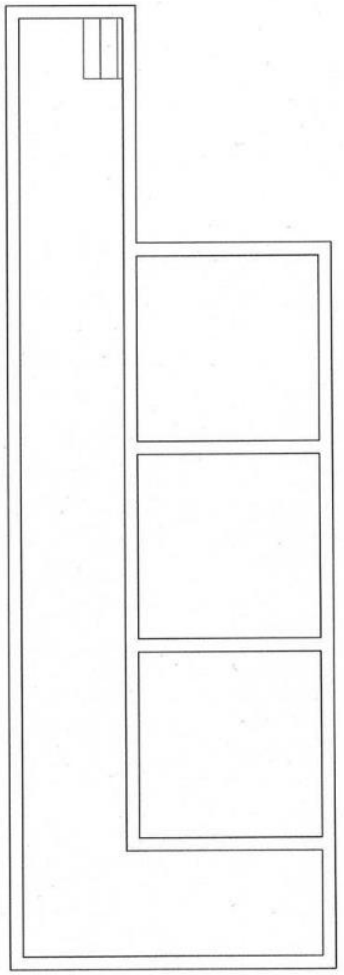
２Ｆ

1F　127.52 m²



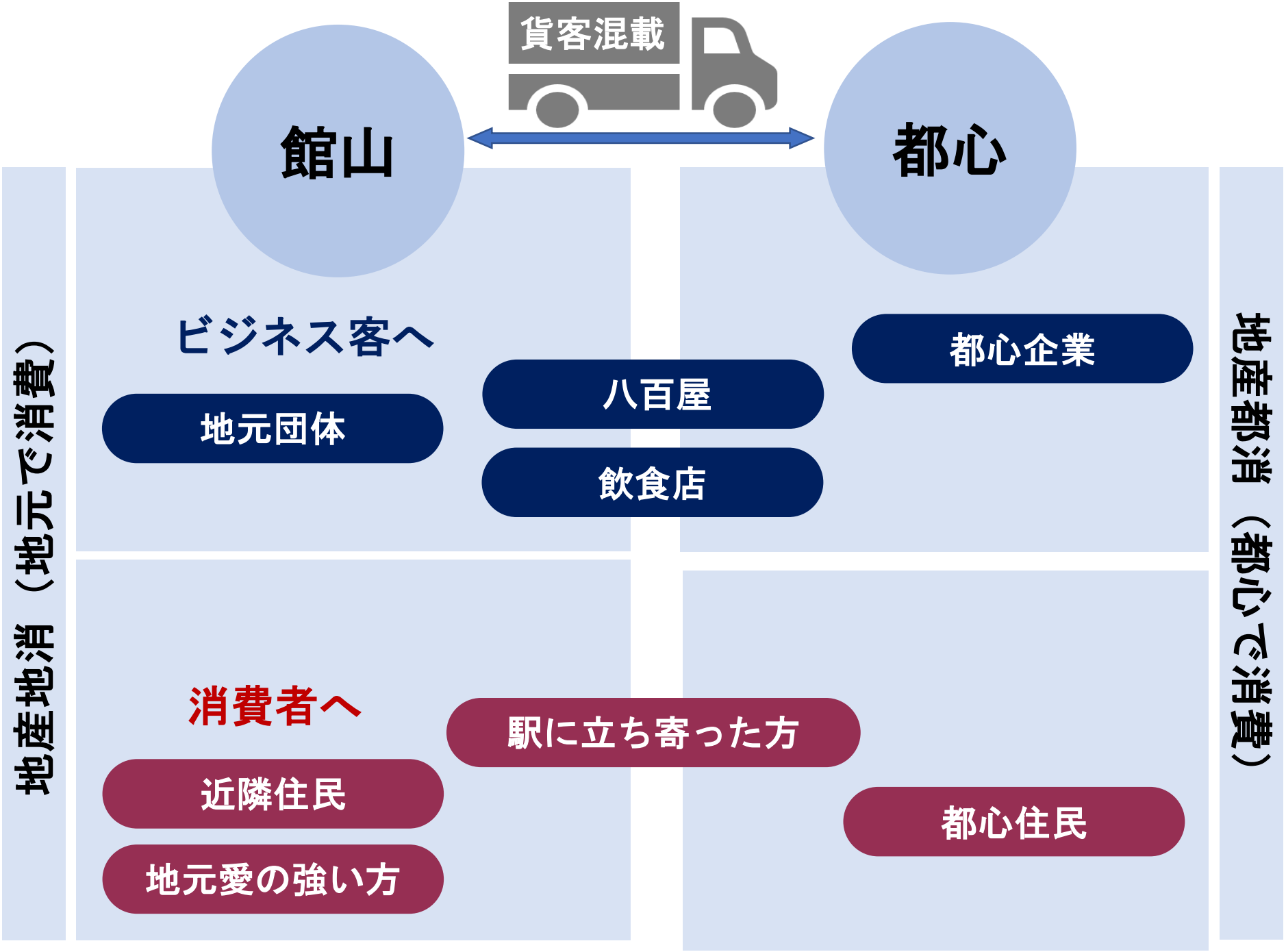
1F

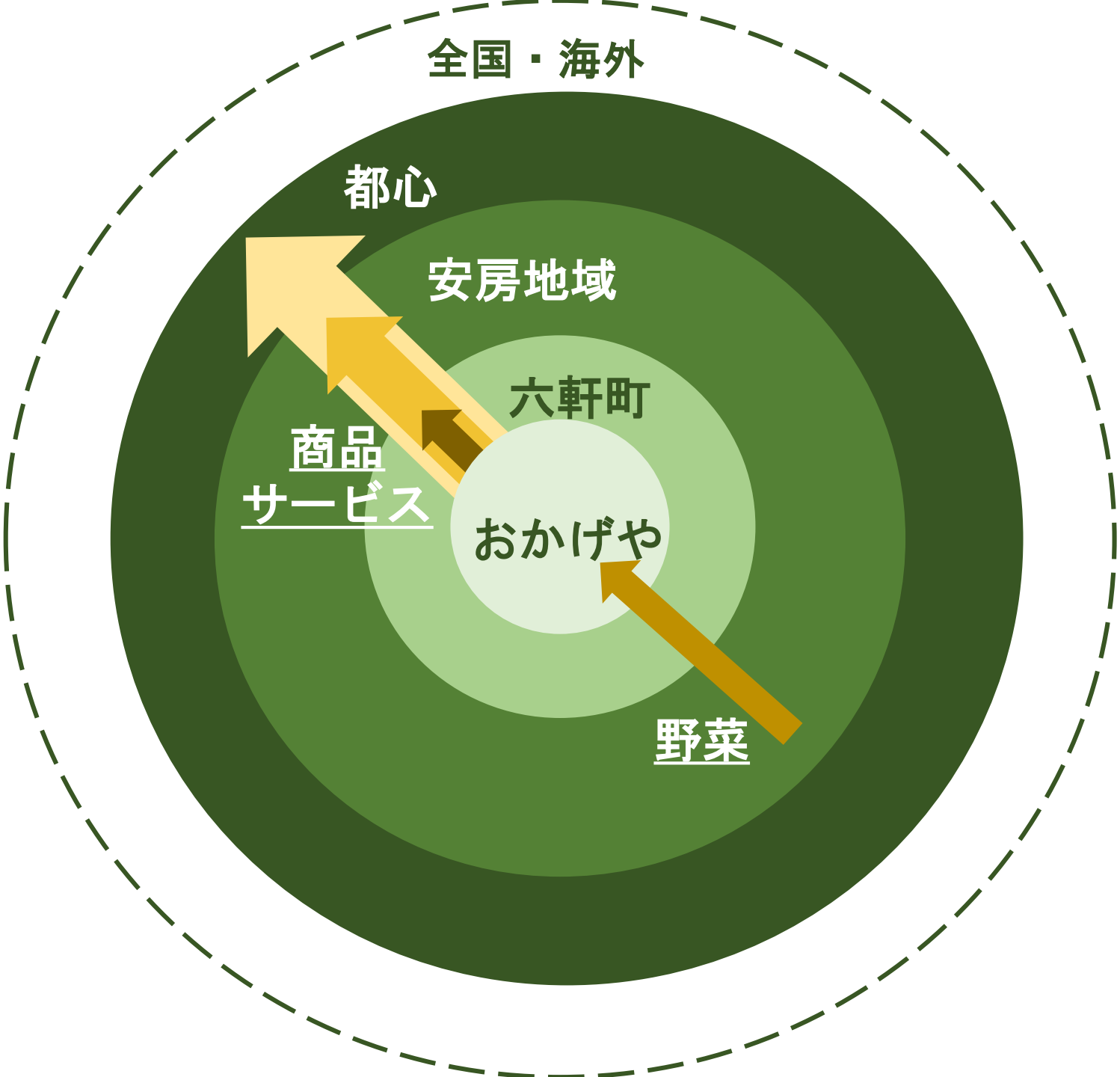
2F　107.65 m²



2F

間取り


貨客混載
館山
都心
地産地消（地元で消費）
地産都消（都心で消費）
ビジネス客へ
地元団体
八百屋
飲食店
都心企業
消費者へ
近隣住民
地元愛の強い方
駅に立ち寄った方
都心住民


全国・海外
都心
安房地域
六軒町
商品
サービス
おかげや
野菜

アクションプラン

（１）ふぞろい野菜とおかげやを紹介するイベントを開催

（２）「おさとや」を「おかげや」として再生

（３）地元への販売開始

（４）都心への販売開始

（５）自衛隊・高校生と協業開始

（売り手＋働き手＋コミュニティ）

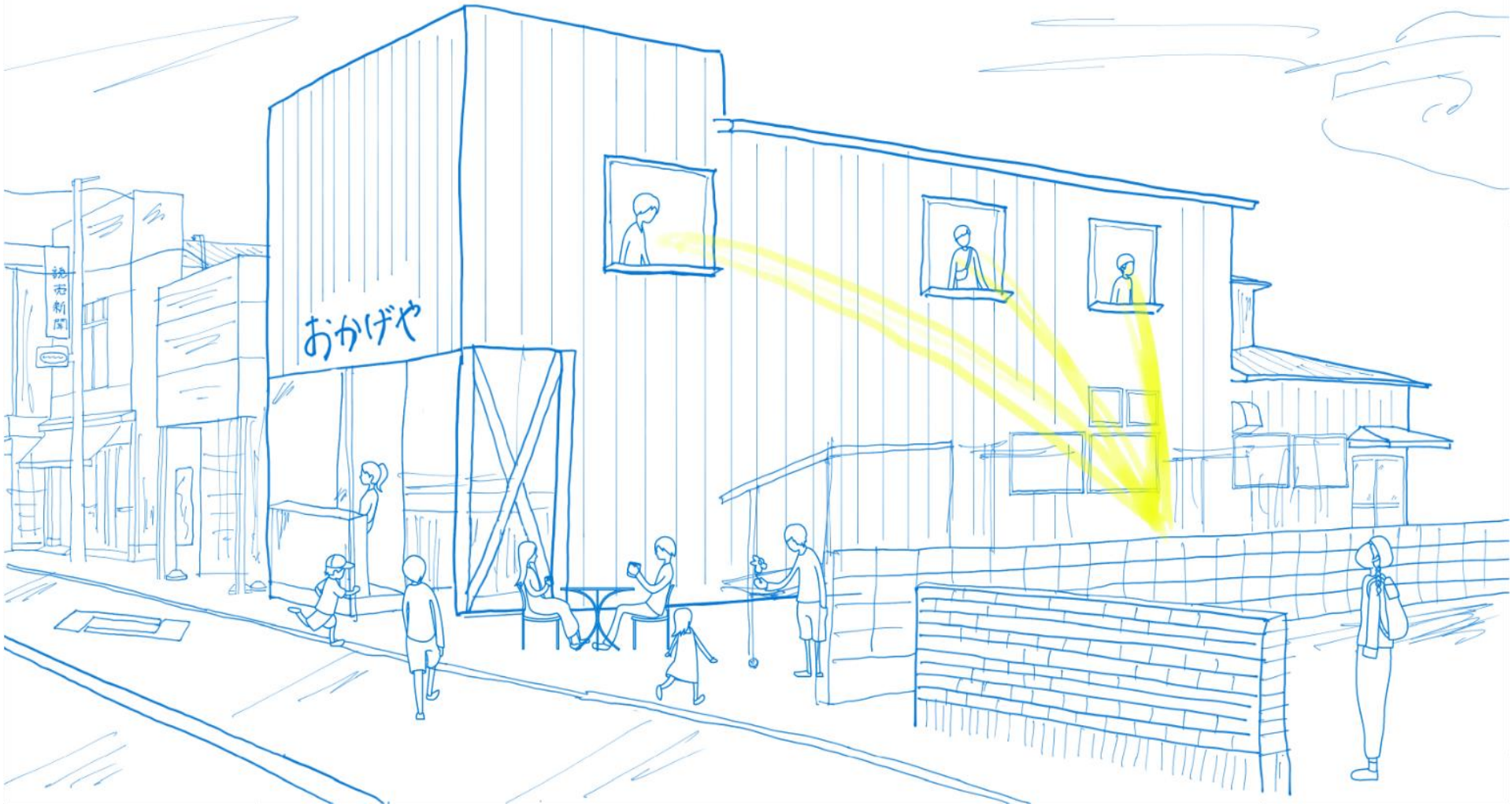
エリアの近未来

自分が作った
野菜が地元で
売れる！

商店街に買い
物をする人が
増えた！

地元の野菜を
地元で買える！

館山の日常をハッピーにする場所へ！



おかげやプロジェクト　活動計画

ステップ		第１期	第２期	第３期
時期		2021年5月～10月頃？	2021年10月頃～？	？
概要	事業内容	• イベント開催 （月1～2回）	• 地元産品の店頭販売・通信販売 • 安房地域の関係案内 （地域内の体験施設の案内）	＜第２期に加え＞ • 地元産品の都市への出荷 • 食品加工品、調理加工品の販売
	顧客	• 地域住民、周辺の飲食店	• 地域住民、周辺の飲食店（店頭） • 他地域の住民・飲食店（通販） • 館山駅発着の観光客（店頭⇒通販）	• ＜第２期に加え＞ • 都市部の事業者 • 地元の事業者
	商品	• 地域の産品 • 体験型ワークショップ	• ふぞろい野菜、花、魚介類 • 惣菜、パン（地域内の飲食店が製造） • 食品加工品、ジビエ加工品	＜第２期に加え＞ • 自工場での加工品 （惣菜、弁当、スムージー、漬物、カット野菜）
	改築	• なし	• 販売エリアの整備 • 電気、空調、水回りの整備	• 食品加工場設置 • 調理加工場設置 • 2階の整備
	購入設備	• なし	• 冷蔵庫・冷凍ストッカー • カウンター、椅子、販売台 • ＯＡ機器、車両 • 通販サイト	• ガスコンロ・フライヤー • 調理器具・食器 • 厨房機・シンク・食器棚
タスク		• 事業計画の詳細化 • ブランド戦略策定 • LCPとの調整 • 家賃交渉（日割り、月額） • イベントの企画・準備・実施 • ２階の活用方法決定 • 改築費・設備費概算見積 • 生産者リスト作成 • 地元高校との調整	• 第2期分の改築、設備購入 • ブランド戦略展開開始 • 広告・宣伝、事業者向けの営業開始 • 商品選定、仕入・販売価格設定 • 生産者、飲食店、LCPからの仕入れ開始 • スタッフの確保（高校への打診も） • 駐車場の確保（振興会等と調整） • 食品加工品、調理加工品の決定 • 地元高校との協業開始	• 第３期分の改築、設備購入 • 高速バスでの都市への出荷開始 • 食品加工、調理加工の開始 • 自衛隊への営業開始 • スタッフの追加（高校への打診も） • 2回の活用開始

おかげやプロジェクトの課題

	テーマ	課題	対応策（案）	難易度
1	道路環境	物件前の道路のクルマの交通量が多く歩道が未整備のため、歩行者や自転車にとって利用しづらい。	管轄の行政に対して改善を要望する。	★★★
2	駐車場	物件の付随する駐車場が１台分しかないため顧客用の駐車場が確保できない。 物件右側の賃貸中の４台分は空きがでれば借りることができるが、１台ずつ料金がかかる。	館山銀座振興会に働きかけ、振興会としての共同駐車場を整備できないか打診する。 近隣店舗や接骨院の駐車場を利用させてもらえないか打診する。	★★
3	家賃	事業収支に見合った金額に家賃の支出を抑える必要がある。	日割り家賃でイベントを開催する第１期中に家賃交渉する。	★
4	地元高校との協業	千葉県の規定が高校の食品加工品の販売に制約を掛けている。	知事や県庁に対し、規定の緩和を要望する。	★★★
5	コロナ対策	人が集まる場所としてのコロナ対策が求められる。	ハード面（建物、設備等）、ソフト面（教育・啓蒙）にて対策を図る。	★

本日の取り組み　－おかげやマルシェの開催－

商品分類	生産者	商品
青果	安西農園	そら豆、ファーベ、新たまねぎ、米
	オンザファーム	葉物サラダセット、ズッキーニ 小松菜（余剰品）、水菜（余剰品）、コカブ（規格外品）
	植木農園	いちご（ふぞろい品）
花卉	山崎俊彦さん	ひまわり
卵	すぎな舎	有精卵（規格外品）
魚介類	まるい鮮魚店	鮮魚詰め合わせ（ふぞろい品）
魚類加工品	アルガマリーナ	鱈燻アヒージョ（未利用魚を活用）、鯖の甘露煮 房州魚の角煮（規格外品を活用） 鯖燻アヒージョ（規格外品を活用）
菓子	菓子店組合	いちご餅（ピース製菓）、ピーナッツ饅頭（菓子匠やまもと） 花菜っこ（房洋堂）、団子（伊勢屋団子屋） 加藤菓子舗（牛乳せんべい）
バッグ	retsukul	トートバッグ、ランドリーバッグ （台風の屋根補修に使ったブルーシートの再利用）
その他	里山素材研究所	猪の頭骨、梅酢、ライフルの殻薬莢で作ったキーホルダーなど （里山の未利用品を活用）

館山総合高校の生徒様に販売員としてご参画頂いております。

本日の取り組み　－ワークショップ（ミニセミナー）の開催－

■タイトル：　「里山トレジャーハント～里山には財宝が隠されている！」

■講師：　里山生態師：　沖コージ

■場所：　旧おさとや

■日時：　2021年5月4日　14:00～14:30

■概要

里まちと里山は切っても切れない縁で繋がっています。半世紀前の地域では里山が暮らしに直結しており、毎日のように里山へ入り食料／燃料／飼料などを採集していました。
里まちとは常に交流して資源の交換を行い、それぞれの場所で暮らす人が恩恵を受けていました。
そして現代。資源は大量生産大量消費の時代になり、里山は放棄されています。里まちと里山の交流は薄れ、恩恵も忘れられつつあります。
このプレゼンでは、里山生態師の沖コージの案内で里山の歴史から自然資源として捉える里山素材を学びます。その中から隠された財宝を見つけ出して表舞台に引き上げることで、里まちと里山の交流を再び活性化にするヒントが得られるかもしれません。
「目指せ！里山トレジャーハンター！」

■内容

・里山の歴史・現代、未来　　・里山の利活用

本日の取り組み　－路線バスで野菜・花卉を運搬する実証実験－

ジェイアールバス関東（株）様のご厚意により、路線バスで野菜・花卉を運搬

運んできた野菜・花卉を

「JRバスみどりノ間戸口」と

旧おさとやにて販売

今後もジェイアールバス関東（株）様にご協力頂き、貨客混載などの実証実験を実施予定